# 目次

[目次 1](#_Toc68961898)

[はじめに 3](#_Toc68961899)

[1．先行研究の検討 7](#_Toc68961900)

[2．資料と方法 14](#_Toc68961901)

[2.1．資料 14](#_Toc68961902)

[2.2．方法 17](#_Toc68961903)

[3．分析と考察 18](#_Toc68961904)

[3.1．レジスターに基づく分析 18](#_Toc68961905)

[3.2．【かたい】と共起する名詞―「名詞　が　かたい」の形式 20](#_Toc68961906)

[3.2.1.「かたい」の表記 20](#_Toc68961907)

[3.2.2.「固い」の表記 21](#_Toc68961908)

[3.2.3.「硬い」の表記 23](#_Toc68961909)

[3.2.4.「堅い」の表記 24](#_Toc68961910)

[3.2.5．分析のまとめ考察 25](#_Toc68961911)

[3.3．【かたい】と共起する名詞―「かたい　名詞」の形式 30](#_Toc68961912)

[3.2.1.「かたい」の表記 30](#_Toc68961913)

[3.2.2.「固い」の表記 31](#_Toc68961914)

[3.2.3.「硬い」の表記 32](#_Toc68961915)

[3.2.4.「堅い」の表記 33](#_Toc68961916)

[3.2.5．分析のまとめ考察 35](#_Toc68961917)

[3.4．【かたい】共起する動詞―「かたく　動詞」の形式 39](#_Toc68961918)

[3.2.1.「かたい」の表記 39](#_Toc68961919)

[3.2.2.「固い」の表記 39](#_Toc68961920)

[3.2.3.「硬い」の表記 39](#_Toc68961921)

[3.2.4.「堅い」の表記 39](#_Toc68961922)

[3.2.5．分析のまとめ考察 39](#_Toc68961923)

[4．結論 40](#_Toc68961924)

[参考文献・資料 41](#_Toc68961925)

[付録 43](#_Toc68961926)

# はじめに

　近年、ベトナムと日本の関係は、文化の面でも経済の面でも深まっている。文化の面では、2018年の日越外交関係樹立45周年で、ハノイ・日本文化交流祭や日越音楽祭などの多くの事業がおこなわれた。2016年9月には日越大学修士コースが開設された。日本の大学もベトナムでの拠点を設立し、2014年には41件である。スポーツについても、2014年に本サッカー協会（JFA）と越サッカー連盟（JFF）のパートナーシップ関係を締結した。経済の面では、2017年末時点での累計投資認可額は495億ドルで、4年ぶりに金額1位である。また、2017年の貿易は中国、アメリカ、韓国に次いで第4位の334億ドルの輸出入金額である[[1]](#footnote-1)。

　両国の関係が深まるにつれ、日本で暮らすベトナム人の数は増えてきている。独立行政法人日本学生支援機構[[2]](#footnote-2)によると、2017年末には、日本に居住するベトナム人は約33万人、そのうち、留学生数は約8.1万人であり、76万人の中国人と45万人の韓国人に次いでいる[[3]](#footnote-3)。また、2019年度にはベトナム人留学生が73.389人であり、去年度に比べて、1035人増えた[[4]](#footnote-4)。

　そして、日本語を勉強するベトナム人の数も増えてきている。日本国際交流基金によると、2012年にはベトナム人日本語学習者は46.762人であり、2015年には64.863人で8位である[[5]](#footnote-5)。そして、2018年にはこの人数は174.521人であり、圧倒的に昨年の169.1%まで増え、6位に上った[[6]](#footnote-6)。

　日本語を勉強するベトナム人にとって、一番難しいのは漢字である。日本語学力テスト「NAT-TEST」では、１級は約1.850字を検定している[[7]](#footnote-7)。日本漢字能力検定では、2級で約2.136字、さらに1級で約6.000字まで検定している[[8]](#footnote-8)。

　大量の漢字を覚えるのが大変だが、漢字の表記もベトナム人にとっては悩ましい問題である。たとえとして、辞書で「アヤマル」を調べてみると、同じ読みで漢字が違う「誤る」と「謝る」が立項されている。このような問題は、一般的に「異字同訓」と呼ばれる。

　まずは、異字同訓の定義を確認する。

　沖森は、異字同訓について、「字義が相異なり、その用法も相違する漢字が訓を同じくする場合を『異字同訓』と呼ぶ」（沖森　2014、p.9）と述べている。同時に、異字同訓として扱われない例外も挙げている。

（A）品詞が違う場合  
（B）同じ品詞でも、意味が異なる場合  
（C）同じ品詞でも、語の性質が異なる場合

（沖森　2014、p.10-12）

　つまり、以上の例外は異字同訓ではないということである。

　また、沖森は書き分けの問題については、「使い分けに一定の指針が求められる」（沖森　2014、p.13）と述べ、つまり異字同訓には書き分けの問題があるということである。

　山田は、異字同訓の問題について、「字形」、「音形」、「意味」の3項目の関係として整理している。すなわち字形が異なり音形が同じで意味が類似している語が異字同訓として書き分けの問題があるのである（山田　2014、p.14-15）。そして、例として山田は［作る／造る］、［長い／永い］を挙げている。一方で山田は、字形が異なり音形が同じで意味が非類似している語が「異字同音異義」であり（山田　2014、p.14)、つまり異字同訓ではないのである。

　したがって、本論文では、異字同訓の書き分けの問題を解決するため研究を行う。

　しかし、異字同訓は、語の認定の問題に関連し、単純ではない。語の認定の問題は、語の長さと語の幅の問題である。語の長さの問題とは、日本語では分かち書きをしないため、何が1つの語か、どこで区切りをするのかは明確ではないということである。一方、語の幅の問題とは。。。。。こうして、異字同訓は語の幅に関連りている。つまり、異字同訓は多義語にかかわる現象と考えられるし、一方で類義語にかかわる現象とも考えられる。

　異字同訓は多義語にかかわる現象と考える場合とは、［作る／造る］、［長い／永い］のような、字形が異なり、音形が同じくして意味が類似している「異字同音類義」の語は一つの多義語と考えるということである（山田　2014、p.14）。逆に、異字同訓は類義語にかかわる現象と考える場合とは、表記が異なる別の語と考えるということである。実際に辞書の見出しを見てみると、『。。。辞典』には「暑い」と「熱い」は別に立項されている。つまり、『。。。辞典』は「暑い」と「熱い」は別の語として見なしているということである。しかし、この場合は「暑い」と「熱い」の意味が類似している。

　引用。。。。

　「暑い」と「熱い」は、「。。。」という点において意味が共通しているが、一方で使用対象という点において意味が異なっている。つまり意味の大部分が同じであるが、実の細かいところが異なっており、「暑い」と「熱い」は類義語の関係にあると言えるのである。

　先ほど確認した通り、沖森は異字同訓の定義を上げる同時に3個の例外も挙げているため、検討しにくくなっている。したがって本論文では、山田の定義に従い、異字同訓を多義語の意味に応じた書き分けの問題として考えて論を進める。

　本論文は、主に4章にわたって論を進める。

　第1章では、先行研究として、各辞書の「かたい」の解説を検討し、問題点を指摘する。

　第2章では、資料を取集し、研究対象を決め、研究方法を述べる。

　第3章では、前編では「かたい」が使用される場面を分析し、使用傾向を考察する。後編では「かたい」と共起する名詞・動詞を分析し、共起する名詞・動詞の種類を考察する。

　第4章では、第3章で行った分析・考察に基づき、異字同訓として「固い」「硬い」「堅い」の使い分け問題を解説する提案を挙げる。そして今後の課題として、適切ではない部分を指摘する。

　「固い」「硬い」「堅い」が使用される場面や共起する動詞・名詞を分析することを通じて、「固い」「硬い」「堅い」が異字同訓としての使い分けを明らかにし、日本語学習者が「固い」「硬い」「堅い」の使い分けを理解できるように目指したい。

# 1．先行研究の検討

　2014年に『「異字同訓」の漢字の使い分け例（報告）』が文化審議会国語文学会により発表された。『「異字同訓」の漢字の使い分け例（報告）』の前書きには以下のように記述されている。

　同訓の漢字の使い分けに関しては、明確に使い分けを示すことが難しいところがあることや、使い分けに関わる年代差、個人差に加え、各分野における表記習慣の違い等もあることから、ここに示す使い分け例は、一つの参考として提示するものである。したがって、ここに示した使い分けとは異なる使い分けを否定する趣旨で示すものではない。また、この使い分け例は、必要に応じて、仮名で表記することを妨げるものでもない。

（文化審議会国語文学会　2014、p.2）

　つまり、報告に示された「使い分け例は、一つの参考」であって、強制力をもった規則ではないということである。これは「仮名で表記することを妨げるものでもない」と書かれていることにも通じている[[9]](#footnote-9)。

　『「異字同訓」の漢字の使い分け例（報告）』には、通用漢字表[[10]](#footnote-10)に示された同訓の漢字133組が上げられいる。例えば、「あし【足】・【脚】」や「きく【聞く】・【聴く】」などである。ただし、同訓の漢字であっても、通用漢字表に入っていない字は使い分け例表に含まれていない。

　まずは、『「異字同訓」の漢字の使い分け例（報告）』の記述を確認する。『「異字同訓」の漢字の使い分け例（報告）』には、以下のように説明を書かれている。

かたい  
【堅い】中身が詰まっていて強い。確かである。  
堅い材木。堅い守り。手堅い商売。合格は堅い。口が堅い。堅苦しい。  
【固い】結び付きが強い。揺るがない。  
団結が固い。固い友情。固い決意。固く信じる。頭が固い。  
【硬い】（⇔軟らかい）。外力に強い。こわばっている。  
硬い石。硬い殻を割る。硬い表現。表情が硬い。選手が緊張で硬くなっている。

（文化審議会国語文学会　2014、p.12）[[11]](#footnote-11)

　『三省堂現代新国語辞典　第十刷発行』には「かたい」は以下のように記述されている。『三省堂現代新国語辞典』には「固い」、「硬い」と「堅い」は別の語として扱われ別に立項されている。

かた・い  
【固い】〈形〉  
①（水分が少なく）中身がしまっていて、形がかんたんには変わらない。  
「―餅・粉を固く練る」  
⇔柔らかい  
②しっかりしていて、かんたんにはくずれない。  
「―団結・―約束」  
⇔もろい  
③気持ちがしっかりしていて変わらない。  
「決意が―・固く信じる」  
④すきまがなくて、かんたんには動かない（・ほどけない）。  
「障子が―・―結び目」  
⑤しっかり力がこもっている。  
「固くだきしめる・―握手」  
⑥きびしい。  
「固いましめる」  
⑦たしかだ。まちがいない。  
「合格は―」  
⑧融通がきかない。がんこだ。  
「頭が―」  
固くなる：緊張しすぎて身体や気持ちがこわばる。「あまり―な」  
【硬い】〈形〉  
①［金属・石などについて］力を加えても、まがったりへこんだりしない。  
「―宝石」  
②よく練れていない。  
「―表現」  
③こわばっている。  
「表情が―」  
⇔軟らかい・柔らかい  
【堅い】〈形〉  
①［材木などについて］力を加えても、まがったりへこんだりしない。  
「―材質」  
⇔柔らかい  
②守りがしっかりしている。  
「城の守りが―」  
⇔もろい  
③手がたい。堅実だ。  
「―商売」  
④ましがないくて信用できる。  
「―店」  
⑤まじめて、義理がたい。  
「―人間」  
⑥かたくるしい。  
「―話・―ことばかり言う・堅く考えなくてよい」

（市川　孝　2001、p.203）

　つまり、「固い」には8個の意味があり、「硬い」には3個の意味があり、「堅い」には6個の意味があるということである。詳細に意味が分類されているが、代表的な意味が分かりにくく、日本語学習者にとって使いにくい。また、意味が重複している部分があるように見えるのである。

　『角川必携国語辞典　初版発行』には「かたい」は以下のように記述されている。

かた・い  
「一」【固い】〈形〉  
　①物をぶつけてもたやすくこわれない  
　「―石」  
　②ことがらや状態が簡単には変わらない。強く厳しい。  
　「―決意」「―団結」「―友情」「固く信じる」「固く禁ずる」「頭が―」  
「二」【堅い】〈形〉  
　ものごとの性質がしっかりしている。確実で信用できる。  
　「身持ちが―」「合格は―」「口が―」「―話」  
　⇔柔らかい  
▶「一」と「二」の漢字の使い分けは明確ではない  
「三」【硬い】〈形〉  
ものの性質や心情などがこわばっているようす。ゆとりやおもしろみなどがない。  
「表情―」「態度―」「―文章」  
⇔軟らかい

（大野　晋、田中　章夫　1995、p.237）

　『三省堂現代新国語辞典』と同じく、『角川必携国語辞典』にも「固い」、「硬い」と「堅い」は別の語として見なされている。「『一』と『二』の漢字の使い分けは明確ではない」（大野　晋、田中　章夫　1995、p.237）と記述されているが、このような記述が辞書の利用者、つまり日本語学習者にとって何も役に立たなくなるのである。

　『学研 現代新国語辞典　改訂第三版』には「かたい」は以下のように記述されている。

かた・い【堅い・固い・硬い】《形》  
①物が、力を加えられても容易に形をかえない性質である。質が強くじょうぶである。  
「―・い気の実」「―・い鉄の箱」  
［参考］音・声などが重く強い意にも使う。  
「金属と石のぶつかる―・い音」  
⇔やわらかい  
②きっちりとしていて、すきまがない。堅固である。  
「唇を―・く閉じる」「守りが―・い」  
③動作・顔つきなどに柔らかみがない。こわばっている。  
「―・くなって返事をする」  
④心の状態や言行が容易に変わらない。  
「―・く決心する」「―・い約束」  
⑤身持ちがたしかである。実直である。  
「身を―・く守る」  
⑥がんこで融通がきかない。かたくなである。  
「頭が―・い」  
⑦物事が確実である。堅実である。  
「合格は―・い」「―・い商売」  
⑧厳格である。きびしい。〔副詞的に使う〕  
「―・くお断りいたします」  
⑨ふざけたところがない。まじめである。  
「―・い本を読む」  
⇔やわらかい  
文：かた・し《く》  
【使い分け】  
『堅い』  
〔質がしまって割れにくく、折れにくい。堅実。確実〕  
堅い材木・堅いつぼみ・堅焼き。音意志が堅い・口が堅い・義理堅い・優勝は堅い・手堅く得点する  
『固い』  
〔城壁を守るように、外から侵すことのできぬほど強くかたい〕  
地盤が固い・固く団結する・固く辞退する・口を固く閉さす・守りが固（堅）い・決意が固い・固い握手・頭が固い  
『硬い』  
〔「軟」の対。石のように、たやすく砕けたり裂けたりしない〕  
硬い玉・硬い髪・表情［態度］が硬い・体［皮肩］が硬い・硬さがほぐれる・硬い文章・話が硬い

（金田一　春彦　2002、p.224）

　『学研現代新国語辞典』では「固い」、「硬い」と「堅い」は1つの語として見なされ記述されている。

以上述べた通り、山田によると異字同音類義語、いわば異字同訓には書きわけの問題があるため、金田一はその3つの表記の使い分けをして述べている。

　『デジタル大辞泉』には、「かたい」は以下のように記述されている。

かた・い【堅い】  
①外力に対する抵抗力が大きく、容易に形を崩さない。  
　「―・い殻を割る」  
　「―・くてかめない肉」  
　⇔やわらかい  
②  
　㋐物が強い力でぴったりとすきまなく合わさっている。  
　　「―・く扉を閉ざす」  
　　「帯を―・く結ぶ」  
　　「―・い握手を交わす」  
　㋑力を加えても、抵抗があって、滑らかに動かない。  
　　「栓が―・い」  
③（内にあるものが）強くて、外からの力に負けない。しっかりしていて、揺るがない。  
　「―・い信念」  
　「―・い約束」  
　「守りが―・い」  
　「口が―・い」  
④厳格である。きびしい。  
　「―・く禁ずる」  
　「身持ちが―・い」  
⑤  
　㋐確かで、あぶなげがない。信用がおける。手堅い。堅実だ。  
　　「―・い商売」  
　　「当選は―・い」  
　　「予算を―・く見積もる」  
　㋑取引で、相場が一向に下がるようすがない  
　㋒何事もいいかげんにせず、きちんと扱うさま。まじめである。  
　　「―・くて信用のおける人」  
　　「―・い本」  
　　「そう―・ことを言うな」  
⑥自由な感じや、柔らかな感じに欠けたようすをいう。  
　㋐自在な動きができない。融通がきかない。  
　　「からだが―・い」  
　　「頭が―・い」  
　　⇔やわらかい  
　㋑（表現などが）いかめしかったり、こわばったりしていて、すなおに人の気持ちに入ってこない。  
　　「文章がまだ―・い」  
　　「デッサンの線が―・い」  
　㋒鋭くて張りつめた感じを与える。  
　　「―・く乾いた音」  
　　「表情を―・くして事態の推移を見守る」  
　㋓緊張から、気持ちにゆとりがなくなる。言動がぎくしゃくする。  
［補説]漢字の使い分けは「固い」が広く用いられ、「硬い」は物の性質、「堅い」は状態・ようすに用いられることが多い。

（『デジタル大辞泉』　2021年02月閲覧）

　『デジタル大辞泉』の記述によると「かたい」は13個の意味ほど持っている。さらにその中に9個の意味は詳細しすぎる。13個の詳細しすぎの意味の記述は日本語学習者にとって非常に分別しにくく、正しく適用できないと見える。また、『デジタル大辞泉』は「堅い」の表記で記述していることは、学習者は「堅い」の表記は通常表記だと誤解しがちの問題が挙げられる。

　上記した問題に加え、記述の統一の問題が挙げられる。確かに各辞書は細かい解説を記述したり体表的に記述したりしているが、辞書の解説、特に漢字の使い分けが統一ではないことは日本語学習者にとって理解しにくく困難である。また、「かたい」の語の認定、つまり類義語か多義語かは辞書によって異なるため、学習者は「かたい」の語の本質は見えなくなる問題が起きている。

　以上挙げた問題の根源は、辞書の特徴からであると言える。そもそも辞書は著者の主観的な考えで記述されたもので、人によって考え方が異なるのにつれて、辞書の記述も異なっている。一方でコーパスは、

辞書：筆者の主観的考え／コーパス：客観的

辞書Aを書いた人と辞書Bの書いた人の主観的考え方がちゅがう。

本研究では客観的なコーパスを通じて研究する（違う資料・違う方法）

→３にの繋がり

# 2．資料と方法

## 2.1．資料

　本研究では、『現代日本語書き言葉均衡コーパスBCCWJ』（以下BCCWJを代表として記述する）を利用して、コーパスからデータを抽出して分析する。データを抽出には、コーパス検索アプリケーション「中納言」を用いた。

　短単位検索でデータを収集した。

　「かたい」は主に以下の形式で用いられる。

　　１．終止形として使われ、「名詞＋が＋かたい」の形式である。

　　　　（頭がかたい、地面がかたい、等）

　　２．連体形として使われ、「かたい＋名詞」の形式である。

　　　　（かたい表現、かたい口調、等）

　　３．連用形として使われ、「かたく＋動詞」の形式である。

　　　　（かたく信じる、かたく約束する、等）

　形容詞である「かたい」のい活用形を検討して、以下の検索条件を設定した。

１．「名詞＋が＋かたい」

「『キー』　が　品詞　の　大分類　の　名詞」

「（キーから１語後）　語彙素　が　『が』」

「（キーから２語後）　語彙素　が　『固い』」

２．「かたい＋名詞」

「『キー』　が　品詞　の　大分類　の　名詞」

「（キーから１語前）　語彙素　が　『固い』」

　　　　「活用形　が　『連体形』」

３．「かたく＋動詞」

「『キー』　が　品詞　の　大分類　の　動詞」

「（キーから１語前）　語彙素　が　『固い』」

　　　　「活用形　が　『連用形』」

　語彙素で「固い」を検索したため、出た結果には「かたい」は４つの表記を使われるとそれぞれの使用頻度を分かった。

　抽出したデータは、以下の表にい記述した（表1）。

表1：全部のデータ

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 名詞＋が＋ 「かたい」 | 「かたい」＋ 名詞 | 「かたい」＋ 動詞 | 総計 |
| かたい | 35 (10.5%) | 197 (12.3%) | 271 (16.0%) | 503 (13.9%) |
| 固い | 121 (36.5%) | 500 (31.3%) | 755 (44.7%) | 1,376 (38.0%) |
| 硬い | 122 (36.8%) | 581 (36.4%) | 483 (28.6%) | 1,186 (32.8%) |
| 堅い | 54 (16.3%) | 320 (20.0%) | 182 (10.8%) | 556 (15.4%) |
| 牢い | 0 | 0 | 1 (<0.1%) | 1 (<0.1%) |
| 緊い | 0 | 0 | 1 (<0.1%) | 1 (<0.1%) |
| 総計 | 332 (100%) | 1,598 (100%) | 1,693 (100%) | 3,623 (100%) |

　「名詞＋が＋かたい」の形式については、「固い」は119回、「堅い」は53回、「硬い」は120回、そして「かたい」は33回使われ、合計325件であった。

　「かたい＋名詞」の形式については、「固い」は542回、「堅い」は357回、「硬い」は621回、そして「かたい」は218回使われ、合計1,738件であった。

　「かたく＋動詞」の形式については、「固い」は755回、「堅い」は182回、「硬い」は483回、そして「かたい」は271回使われ、合計1,691件であった。

　ところが、データを詳しく検討すると、いくつかのエラーが混ざったため、修正を行った。具体的には、以下に記述する。

　「かたく＋動詞」の形式のデータには「牢い」の表記が1件（0.06%）,「緊い」の表記が1件（0.06%）入っていた。2件の例を挙げてみる。

（1）支那でも、「生平いまだ女色に近づかざる者あり。陰物はこれ何なる様範なるかを知らず。人に向かってこれを問う。人いわく、すなわち一隻の眼睛を豎に起てるに像たものすなわちこれなり、と。この人牢く記して心にある。一日、嫖興たちまち発す。妓館のいずこにあるかを知らざれば、ついに街頭に向かって間歩す。一眼科の招牌の上に、眼の様を数隻か画き、たまたま横放しにしたるに撞見う。もって、これ必ずや妓家ならんと為う。内に進り、その来意を道うに、医士大いに怒り、叱ってこれを逐う。

（BCCWJ、LBf0\_00006、『南方熊楠コレクション』河出書房新社、1991）[[12]](#footnote-12)

（2）。。。。。。

（BCCWJ、OV1X\_00037、『増補現代俳句大系』角川書店、1982）

　○○のため、この2件を外した。

　「名詞＋が＋かたい」の形式のデータには、以下のようなエラーが混ざっている。

。。。。。。

　このデータの前後文脈を読むと実は「名詞＋が＋[かたい＋名詞]」の形式である。検討している、「名詞＋が＋かたい」の形式として適切ではないため、このようなサンプルを

　このようなデータを合計○○件を外した。

　エラーを全部外し、残したデータは以下となる。

　以上記述したデータを、研究対象とする（表2）。

表2：修正したデータ（研究対象）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 名詞＋が＋ 「かたい」 | 「かたい」＋ 名詞 | 「かたい」＋ 動詞 | 総計 |
| かたい | 35 (10.5%) | 197 (12.3%) | 271 (16.0%) | 503 (13.9%) |
| 固い | 121 (36.5%) | 500 (31.3%) | 755 (44.7%) | 1,376 (38.0%) |
| 硬い | 122 (36.8%) | 581 (36.4%) | 483 (28.6%) | 1,186 (32.8%) |
| 堅い | 54 (16.3%) | 320 (20.0%) | 182 (10.8%) | 556 (15.4%) |
| 総計 | 332 (100%) | 1,598 (100%) | 1,693 (100%) | 3,621 (100%) |

## 2.2．方法

　研究方法については、本論文ではコーパスを利用する。コーバスの定義は以下に記述する。

言語のテクスト集合体をコーパス（corpus、複数形corpora）と呼ぶ。一般的には、実際に使用された話しことば・書きことばを、ある言語や言語変種の代表となるように集め、コンピューター上で検索可能にしたものを指す。

（斎藤・田口・西村　2015、p.89）

　コーパスから抽出したデータを分析して、語の表記の使用頻度によって考察する。

# 3．分析と考察

## 3.1．レジスターに基づく分析

　本節では、「かたい」の各表記が使用されているレジスターについて分析する。「かたい」は、「かたい」「固い」「硬い」「堅い」の４つの表記の使用頻度は以下の表３に記述する。

表3：レジスター別の分類

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | かたい | 固い | 硬い | 堅い | 総計 |
| 出版・新聞 | 0 | 7 (25.00%) | 14 (50.00%) | 7 (25.00%) | 28 (100%) |
| 出版・書籍 | 132 (11.55%) | 410 (35.87%) | 440 (38.50%) | 161 (14.09%) | 1,143 (100%) |
| 出版・雑誌 | 22 (12.15%) | 47 (25.97%) | 80 (44.20%) | 32 (17.68%) | 181 (100%) |
| 図書館・書籍 | 222 (16.95%) | 546 (41.68%) | 305 (23.28%) | 237 (18.09%) | 1,310 (100%) |
| 特定目的・ブログ | 14  (6.28%) | 83 (37.22%) | 84 (37.67%) | 42 (18.83%) | 223 (100%) |
| 特定目的・ベストセラー | 27 (12.62%) | 121 (56.54%) | 44 (20.56%) | 22 (10.28%) | 214 (100%) |
| 特定目的・国会会議録 | 28 (93.33%) | 2  (6.67%) | 0 | 0 | 30 (100%) |
| 特定目的・広報紙 | 1 (1.79%) | 38 (67.86%) | 10 (17.86%) | 7 (12.50%) | 56 (100%) |
| 特定目的・教科書 | 25 (64.10%) | 4 (10.26%) | 10 (25.64%) | 0 | 39 (100%) |
| 特定目的・白書 | 0 | 1 (25.00%) | 0 | 3 (75.00%) | 4 (100%) |
| 特定目的・知恵袋 | 22 (6.16%) | 103 (28.85%) | 190 (53.22%) | 42 (11.76%) | 357 (100%) |
| 特定目的・韻文 | 10 (27.78%) | 14 (38.89%) | 9 (25.00%) | 3 (8.83%) | 36 (100%) |
| 総計 | 503 (13.89%) | 1,376 (38.00%) | 1,186 (32.75%) | 556 (15.35%) | 3,621 (100%) |

　これらのデータを分類した結果をみると、「特定目的・国会会議録」では「かたい」の表記の使用割合が非常に多く、90.48%を占めている。同じく「特定目的・教科書」では「かたい」の使用割合は68.83%である。一方で、「特定目的・広報紙」では「固い」の法が圧倒的に多く、77.78%を占めている。別の角度で見ると、「特定目的・知恵袋」では「硬い」は50.78%を占めていると同時に、「出版・新聞」でもその使用割合は55.56%である。

　本節では、「かたい」４つの表記が使われるレジスターに基づいて分析と考察を行った。レジスターによって「かたい」「固い」「硬い」「堅い」の表記ごとには使用頻度が異なる。具体的には：

　　「出版・新聞」　　　　　では「硬い」　の表記はよく使用されている  
　　「特定目的・国会会議録」では「かたい」の表記はよく使用されている  
　　「特定目的・広報紙」　　では「固い」　の表記はよく使用されている  
　　「特定目的・教科書」　　では「かたい」の表記はよく使用されている  
　　「特定目的・知恵袋」　　では「硬い」　の表記はよく使用されている  
　　「特定目的・韻文」　　　では「固い」　の表記はよく使用されている

ということは分かる。

## 3.2．【かたい】と共起する名詞―「名詞　が　かたい」の形式

　本節では、【かたい】と共起する名詞の分析を行う。具体的には【かたい】が形容詞としての述語として用いられる「名詞　が　かたい」の使用形式を分析対象とする。

　まずは、【かたい】が「名詞　が　かたい」という形式の中で、どの名詞と共起するかを分析する。共起する名詞上位10位を以下の表4で示す。

表4：共起する名詞上位10位―「名詞　が　かたい」の形式

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 順位 | かたい | 固い | 硬い | 堅い |
| 1位 | 口 3 (8.57%) | 頭 22 (18.81%) | 体 30 (24.59%) | 口 11 (20.37%) |
| 2位 | 体 3 (8.57%) | 結束 9 (7.44%) | 表情 6 (4.92%) | ガード 5 (9.26%) |
| 3位 | バター 2 (5.71%) | 口 8 (6.61%) | 子宮 6 (4.92%) | 皮 3 (5.56%) |
| 4位 | 目 2 (5.71%) | ガード 8 (6.61%) | 骨 5 (4.10%) | 守り 3 (5.56%) |
| 5位 | 表面 2 (5.71%) | 体 4 (3.31%) | 便　　 4 (3.28%) | 茎 2 (3.70%) |
| 6位 | 頭 2 (5.71%) | 便 4 (3.31%) | 皮 4　(3.28%) | 紐 2 (3.70%) |
| 7位 | ガード 1 (2.86%) | 意思 4 (3.31%) | シート 3 (2.46%) | 地盤 2 (3.70%) |
| 8位 | 体制 1 (2.86%) | 決心 4 (3.31%) | 筋 3 (2.46%) | 手 2 (3.70%) |
| 9位 | 便 1 (2.86%) | 蕾 3 (2.48%) | 関節 3 (2.46%) | 選手 2 (3.70%) |
| 10位 | 固まり 1 (2.86%) | 団結 2 (1.65%) | 肉 2 (1.64%) | 体 1 (1.85%) |

　表4によると、「名詞　が　かたい」という形式において、【かたい】とよく共起する名詞は「口」「体」「頭」などの身体部位をあらわす名詞がである。「固い」ともっともよく共起する名詞は「頭」で、全体の18.81%を占めている。「頭」に続いて「結束」とも共起し、7.44%を締めている。「体」に続いては「表情」（4.92%）、「子宮」（4.92%）、「骨」（4.10%）である。一方で、「硬い」は「体」の名詞とよく共起し、24.59%を占めている。そして、「堅い」は「口」の名詞と共起し、20.37%を占めている、ということである。

　次に、【かたい】と共起する名詞の意味に基づき分析する。

### 3.2.1.「かたい」の表記

　本項から、【かたい】の各表記が「名詞　が　かたい」という形式においてどのような名詞と共に用いられるのか、名詞の意味に着目して詳しい分析を行う。名詞の意味を分析する際には『分類語彙表』の分類に従う。

　まずは、「かたい」と共起する名詞の意味を『分類語彙表』の「部門」の基づいて分析する。分析結果を以下の表に示す。

表5：「かたい」

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 部門 | 異なり語数 | 延べ語数 | 語例 |
| 関係 | 7 (25.93%) | 8 (22.86%) | 表面 (2)、肉質 (1)、結束 (1)、固まり (1) |
| 主体 | 0 (0.00%) | 0 (0.00%) |  |
| 活動 | 2 (7.41%) | 2 (5.71%) | ガード (1)、意志 (1) |
| 生産物 | 6 (22.22%) | 7 (20.00%) | バター (2)、引き出し (1)、枕 (1) |
| 自然 | 12 (44.44%) | 18 (51.43%) | 体 (3)、口 (3)、頭 (2)、目 (2)、野菜 (1) |
| **総計** | **27 (100%)** | **35 (100%)** |  |

　表5によると、もっともよく共起するのは「自然」の意味の名詞で、異なり語数で44.44%、延べ語数で51.43%を占めている。よって、種類だけでなく、使用回数も多いということである。

　次に、「かたい」と共起する名詞の意味をさらに細かく、『分類語彙表』の「中項目」に基づいて分析する。分析結果を以下の表に示す。

表6：「かたい」

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 部門 | 異なり語数 | 延べ語数 | 語例 |
| 13 様相 | 3 (11.11%) | 3 (8.57%) | 体制 (1)、性格 (1)、肉質 (1) |
| 15 作用 | 1 (3.70%) | 1 (2.86%) | 結束 (1) |
| 17 空間 | 1 (3.70%) | 2 (5.71%) | 表面 (2) |
| 18 形 | 2 (7.41%) | 2 (5.71%) | 固まり (1)、結び (1) |
| 30 心 | 1 (3.70%) | 1 (2.86%) | 意志 (1) |
| 35 交わり | 1 (3.70%) | 1 (2.86%) | ガード (1) |
| 40 物品 | 1 (3.70%) | 1 (2.86%) | 肉質 (1) |
| 41 資材 | 1 (3.70%) | 1 (2.86%) | 紐 (1) |
| 42 衣料 | 2 (7.41%) | 2 (5.71%) | 枕 (1)、袖口 (1) |
| 43 食料 | 1 (3.70%) | 2 (5.71%) | バター (2) |
| 45 道具 | 1 (3.70%) | 1 (2.86%) | 引き出し (1) |
| 54 植物 | 2 (7.41%) | 2 (5.71%) | 葉 (1)、野菜 (1) |
| 56 身体 | 10 (37.04%) | 16 (45.71%) | 体 (3)、口 (3)、目 (2)、頭 (2)、白身 (1) |
| **総計** | **27 (100%)** | **35 (100%)** |  |

　表6によると、「身体」の意味の名詞がもっとも多く、異なり語数で37.04%、延べ語数で45.71%を占めている。よって、種類だけでなく、使用回数も多いということである。語例として、「体」「頭」「口」が挙げられる。

### 3.2.2.「固い」の表記

　次に、「固い」と共起する名詞の意味を『分類語彙表』の「部門」に基づいて分析する。分析結果を以下の表に示す。

表7：「固い」

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 部門 | 異なり語数 | 延べ語数 | 語例 |
| 関係 | 5 (8.93%) | 13 (10.74%) | 結束 (9)、下 (1)、地面 (1)、肉質 (1) |
| 主体 | 0 (0.00%) | 0 (0.00%) |  |
| 活動 | 13 (23.21%) | 30 (24.79%) | ガード (8)、意志 (5)、決心 (4)、表情 (2) |
| 生産物 | 15 (26.79%) | 16 (13.22%) | 肉 (2)、麺類 (1)、御飯 (1)、ソース (1) |
| 自然 | 23 (41.07%) | 62 (51.24%) | 頭 (22)、口 (8)、蕾 (3)、指 (2)、殻 (2) |
| **総計** | **56 (100%)** | **121 (100%)** |  |

　表7をによると、「自然」の意味の名詞が最も多く、異なり語数が40.35%で、延べ語数が51.24%を占めている。「固い」の表記はさまざまな「自然」の意味の名詞と共起し、その使用回数が多いということが分かる。

　次に、「固い」と共起する名詞の意味をさらに細かく、『分類語彙表』の「中項目」に基づいて分析する。分析結果を以下の表8に示す。

表8：「固い」

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 部門 | 異なり語数 | 延べ語数 | 語例 |
| 13 様相 | 1 (1.79%) | 1 (0.83%) | 肉質 (1) |
| 15 作用 | 2 (3.57%) | 10 (8.26%) | 結束 (9)、統一 (1) |
| 17 空間 | 2 (3.57%) | 2 (1.65%) | 下 (1)、地面 (1) |
| 30 心 | 7 (12.50%) | 16 (13.22%) | 意志 (5)、決心 (4)、決意 (2)、表情 (2) |
| 31 言語 | 3 (5.36%) | 3 (2.48%) | 文体 (1)、言葉 (1)、言葉遣い (1) |
| 35 交わり | 3 (5.36%) | 11 (9.09%) | ガード (8)、団結 (2)、防備 (1) |
| 41 資材 | 1 (1.79%) | 1 (0.83%) | 紐 (1) |
| 42 衣料 | 3 (5.36%) | 3 (2.48%) | グローブ (1)、ベッド (1)、もんぺ (1) |
| 43 食料 | 7 (12.50%) | 8 (6.61%) | 肉 (2)、ソース (1)、御飯 (1)、麺類 (1) |
| 44 住居 | 2 (3.57%) | 2 (1.65%) | シート (1)、椅子 (1) |
| 45 道具 | 2 (3.57%) | 2 (1.65%) | シャワーヘッド (1)、蓋 (1) |
| 51 物質 | 2 (3.57%) | 3 (2.48%) | 雪 (2)、岩盤 (1) |
| 54 植物 | 5 (8.93%) | 7 (5.79%) | 蕾 (3)、冬芽 (1)、根 (1)、種 (1)、葉 (1) |
| 56 身体 | 16 (28.57%) | 52 (42.98%) | 頭 (22)、口 (8)、体 (4)、便 (4)、指 (2) |
| **総計** | **56 (100%)** | **121 (100%)** |  |

　表8をによると、「身体」の意味の名詞がもっとも多く、異なり語数で28.57%、延べ語数で42.98%を占めている。「身体」の意味の名詞の種類が多く、使用回数がもっと多いということである。具体的には、一番多いのは「頭」「口」という語例が挙げられる。

### 3.2.3.「硬い」の表記

　次に、「硬い」と共起する名詞の意味を『分類語彙表』の「部門」に基づいて分析する。分析結果を以下の表に示す。

表9：「硬い」

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 部門 | 異なり語数 | 延べ語数 | 語例 |
| 関係 | 8 (13.33%) | 10 (8.20%) | 表面 (2)、動き (2)、方 (1)、状態 (1) |
| 主体 | 1 (1.67%) | 1 (0.82%) | グリーン (1) |
| 活動 | 3 (5.00%) | 8 (6.56%) | 表情 (6)、態度 (1)、笑顔 (1) |
| 生産物 | 14 (23.33%) | 18 (14.75%) | シート (3)、肉 (2)、革 (2)、底 (1) |
| 自然 | 34 (56.67%) | 85 (69.67%) | 体 (27)、子宮 (6)、骨 (5)、皮 (4) |
| **総計** | **60 (100%)** | **122 (100%)** |  |

　表9をによると、「硬い」の表記と共起する名詞は「自然」の意味の名詞が圧倒的に多い、異なり語数で56.67%、延べ語数で69.67%を占めている。語例として、「体」（27回）、「骨」（5回）を挙げられる。「自然」について、「生産物」の意味の名詞が2番目に多、異なり語数で23.33%、延べ語数で14.75%を占めている。

　次に、「硬い」と共起する名詞の意味をさらに細かく、『分類語彙表』の「中項目」に基づいて分析する。分析結果を以下の表8に示す。

表10：「硬い」

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 部門 | 異なり語数 | 延べ語数 | 語例 |
| 13 様相 | 2 (3.33%) | 2 (1.64%) | 状態 (1)、肉質 (1) |
| 15 作用 | 1 (1.67%) | 2 (1.64%) | 動き (2) |
| 17 空間 | 4 (6.67%) | 5 (4.10%) | 表面 (2)、底 (1)、底面 (1)、辺り (1) |
| 18 形 | 1 (1.67%) | 1 (0.82%) | 端 (1) |
| 23 人物 | 1 (1.67%) | 1 (0.82%) | グリーン (1) |
| 30 心 | 3 (5.00%) | 8 (6.56%) | 表情 (6)、態度 (1)、笑顔 (1) |
| 41 資材 | 5 (8.33%) | 5 (4.10%) | ロッド (1)、側 (1)、岩 (1)、材 (1) |
| 42 衣料 | 1 (1.67%) | 2 (1.64%) | 革 (2) |
| 43 食料 | 2 (3.33%) | 3 (2.46%) | 肉 (2)、豆腐 (1) |
| 44 住居 | 3 (5.00%) | 5 (4.10%) | シート (3)、椅子 (1)、縁側 (1) |
| 45 道具 | 1 (1.67%) | 1 (0.82%) | ブラシ (1) |
| 46 機械 | 2 (3.33%) | 2 (1.64%) | クラッチ (1)、レンズ (1) |
| 50 自然 | 2 (3.33%) | 2 (1.64%) | 靴音 (1)、音 (1) |
| 51 物質 | 3 (5.00%) | 4 (3.28%) | 土 (2)、岩 (1)、水 (1) |
| 52 天地 | 1 (1.67%) | 1 (0.82%) | 地山 (1) |
| 54 植物 | 5 (8.33%) | 6 (4.92%) | 茎 (2)、種 (1)、種子 (1)、葉 (1) |
| 56 身体 | 23 (38.33%) | 72 (59.02%) | 体 (30)、便 (5)、子宮 (6) |
| **総計** | **60 (100%)** | **122 (100%)** |  |

　表10をによると、「身体」の意味の名詞が一番多く、異なり語数比率で38.33%、異なり語数で59.02%を占めている。「身体」の意味の名詞の種類が多く、使用回数がもっと多いということである。具体的には、一番多いのは「体」「便」「口」という語例が挙げられる。

### 3.2.4.「堅い」の表記

　次に、「堅い」と共起する名詞の意味を『分類語彙表』の「部門」に基づいて分析する。分析結果を以下の表11に示す。

表11：「堅い」

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 部門 | 異なり語数 | 延べ語数 | 語例 |
| 関係 | 3 (9.68%) | 3 (5.56%) | カバー (1)、リード (1)、座面 (1) |
| 主体 | 1 (3.23%) | 2 (3.70%) | 方 (1)、黒 (1) |
| 活動 | 12 (38.71%) | 18 (33.33%) | ガード (5)、守り (3)、義理 (1) |
| 生産物 | 4 (12.90%) | 5 (7.41%) | 紐 (2)、国産 (1)、かき揚げ (1) |
| 自然 | 11 (35.48%) | 26 (48.15%) | 口 (11)、皮 (3)、茎 (2)、地盤 (2) |
| **総計** | **31 (100%)** | **54 (100%)** |  |

　表11をによると、「堅い」の表記は「活動」の意味の名詞と「自然」の意味の名詞ともよく共に用いられる。「活動」の意味の名詞は異なり語数でが38.71%、延べ語数で33.33%を占めている。一方で「自然」の意味の名詞は異なり語数でが35.48%、延べ語数でが48.15%を占めている。「自然」の意味の名詞は種類が多く、もっとよく繰り返して使われているということである。

　次に、「硬い」と共起する名詞の意味をさらに細かく、『分類語彙表』の「中項目」に基づいて分析する。分析結果を以下の表8に示す。

表12：「堅い」

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 部門 | 異なり語数 | 延べ語数 | 語例 |
| 15 作用 | 2 (6.45%) | 2 (3.70%) | カバー (1)、リード (1) |
| 17 空間 | 1 (3.23%) | 1 (1.85%) | 面 (1) |
| 23 人物 | 1 (3.23%) | 2 (3.70%) | 選手 (2) |
| 30 心 | 6 (19.35%) | 6 (11.11%) | 意志 (1)、気持ち (1)、決心 (1)、義理 (1) |
| 31 言語 | 1 (3.23%) | 1 (1.85%) | 喋り (1) |
| 34 行為 | 1 (3.23%) | 1 (1.85%) | 身持ち (1) |
| 35 交わり | 3 (9.68%) | 7 (12.96%) | ガード (5)、守備 (1)、防備 (1) |
| 36 待遇 | 1 (3.23%) | 3 (5.56%) | 守り (3) |
| 40 物品 | 1 (3.23%) | 1 (1.85%) | 国産 (1) |
| 41 資材 | 2 (6.45%) | 3 (5.56%) | 紐 (2)、物 (1) |
| 43 食料 | 1 (3.23%) | 1 (1.85%) | 掻き揚げ (1) |
| 51 物質 | 1 (3.23%) | 1 (1.85%) | 土 (1) |
| 52 天地 | 1 (3.23%) | 2 (3.70%) | 地盤 (2) |
| 54 植物 | 2 (6.45%) | 3 (1.85%) | 茎 (2)、蕾 (1) |
| 56 身体 | 7 (22.58%) | 20 (37.04%) | 口 (11)、皮 (3)、手 (2)、体 (1) |
| **総計** | **31 (100%)** | **54 (100%)** |  |

　表12をによると、「身体」の意味の名詞がもっとも多く、異なり語数で22.58%、延べ語数で37.04%を占めている。

### 3.2.5．分析のまとめ考察

　最後に、以上に分析した結果をまとめる。以下の表13は、【かたい】の各表記と共起する名詞の異なり語数の分析結果である。

表13：異なり語数の分析結果比較―「名詞　が　かたい」の形式

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 部門 | かたい | 固い | 硬い | 堅い |
| 関係 | 7 (25.93%) | 5 (8.93%) | 8 (13.33%) | 3 (9.68%) |
| 主体 | 0 (0.00%) | 0 (0.00%) | 1 (1.67%) | 1 (3.23%) |
| 活動 | 2 (7.41%) | 13 (23.21%) | 3 (5.00%) | 12 (38.71%) |
| 生産物 | 6 (22.22%) | 15 (26.79%) | 14 (23.33%) | 4 (12.90%) |
| 自然 | 12 (44.44%) | 23 (41.07%) | 34 (56.67%) | 11 (35.48%) |
| **総計** | **27 (100%)** | **56 (100%)** | **60 (100%)** | **31 (100%)** |

　表13によると、「かたい」「固い」「硬い」はよく「自然」の意味の名詞と共に用いられているという点においては共通している。ただし、「かたい」と「固い」では「自然」の比率が41%～44%程度である一方、「硬い」ではこの比率56.67%まで増加している。一方で「堅い」では35.48%に過ぎないという点においては他の表記と異なっている。

　また、表13によると、「活動」では「堅い」で23.21%、「堅い」で38.71%を占め、「活動」の意味の名詞がよく「固い」と「堅い」と共に用いられているということである。

　さらに、「かたい」「固い」「硬い」はよく「生産物」の意味の名詞と共に用いられるという点においても共通である。全3つの表記では「生産物」の比率が22%～26%程度である。

　最後に、「関係」では「かたい」で25.93%を占め、「かたい」はよく「関係」の意味の名詞と共に用いられているということである。

表14：延べ語数の分析結果比較―「名詞　が　かたい」の形式

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 部門 | かたい | 固い | 硬い | 堅い |
| 関係 | 8 (22.86%) | 13 (10.74%) | 10 (8.20%) | 3 (5.56%) |
| 主体 | 0 (0.00%) | 0 (0.00%) | 1 (0.82%) | 2 (3.70%) |
| 活動 | 2 (5.71%) | 30 (24.79%) | 8 (6.56%) | 18 (33.33%) |
| 生産物 | 7 (20.00%) | 16 (13.22%) | 18 (14.75%) | 5 (7.41%) |
| 自然 | 18 (51.43%) | 62 (51.24%) | 85 (69.67%) | 26 (48.15%) |
| **総計** | **35 (100%)** | **121 (100%)** | **122 (100%)** | **54 (100%)** |

　表14によると【かたい】の度の表記でも「自然」の比率が高い。「堅い」で48.15%、「かたい」「固い」で51%程度、そして「硬い」では非常に高く、69.67%を占めている。これは、「自然」の意味の名詞が度の表記でもよくともに用いられ、繰り返して使用されているということである。

　また、「活動」では「固い」で24.79%、「堅い」で33.33%を占め、「活動」の意味の名詞は「固い」「堅い」とよく共起するということである。

　最後に、「関係」では「かたい」で22.86%を占め、「かたい」はよく「関係」の意味の名詞と共に用いられ、繰り返して使われているということである。

表15：異なり語数の分析結果比較―「名詞　が　かたい」の形式

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 部門 | かたい | 固い | 硬い | 堅い |
| 13 様相 | 3 (11.11%) | 1 (1.79%) | 2 (3.33%) | 0 (0.00%) |
| 15 作用 | 1 (3.70%) | 2 (3.57%) | 1 (1.67%) | 2 (6.45%) |
| 17 空間 | 1 (3.70%) | 2 (3.57%) | 4 (6.67%) | 1 (3.23%) |
| 18 形 | 2 (7.41%) | 0 (0.00%) | 1 (1.67%) | 0 (0.00%) |
| 23 人物 | 0 (0.00%) | 0 (0.00%) | 1 (1.67%) | 1 (3.23%) |
| 30 心 | 1 (3.70%) | 7 (12.50%) | 3 (5.00%) | 6 (19.35%) |
| 31 言語 | 0 (0.00%) | 3 (5.36%) | 0 (0.00%) | 1 (3.23%) |
| 34 行為 | 0 (0.00%) | 0 (0.00%) | 0 (0.00%) | 1 (3.23%) |
| 35 交わり | 1 (3.70%) | 3 (5.36%) | 0 (0.00%) | 3 (9.68%) |
| 36 待遇 | 0 (0.00%) | 0 (0.00%) | 0 (0.00%) | 1 (3.23%) |
| 40 物品 | 1 (3.70%) | 0 (0.00%) | 0 (0.00%) | 1 (3.23%) |
| 41 資材 | 1 (3.70%) | 1 (1.79%) | 5 (8.33%) | 2 (6.45%) |
| 42 衣料 | 2 (7.41%) | 3 (5.36%) | 1 (1.67%) | 0 (0.00%) |
| 43 食料 | 1 (3.70%) | 7 (12.50%) | 2 (3.33%) | 1 (3.23%) |
| 44 住居 | 0 (0.00%) | 2 (3.57%) | 3 (5.00%) | 0 (0.00%) |
| 45 道具 | 1 (3.70%) | 2 (3.57%) | 1 (1.67%) | 0 (0.00%) |
| 46 機械 | 0 (0.00%) | 0 (0.00%) | 2 (3.33%) | 0 (0.00%) |
| 50 自然 | 0 (0.00%) | 0 (0.00%) | 2 (3.33%) | 0 (0.00%) |
| 51 物質 | 0 (0.00%) | 2 (3.57%) | 3 (5.00%) | 1 (3.23%) |
| 52 天地 | 0 (0.00%) | 0 (0.00%) | 1 (1.67%) | 1 (3.23%) |
| 54 植物 | 2 (7.41%) | 5 (8.93%) | 5 (8.33%) | 2 (6.45%) |
| 56 身体 | 10 (37.04%) | 16 (28.57%) | 23 (38.33%) | 7 (22.58%) |
| **総計** | **27 (100%)** | **56 (100%)** | **60 (100%)** | **31 (100%)** |

　表15は、名詞のさらに細かい分類「中項目」の分析結果比較である。今まで3.2.1～3.2.4の分析結果と同じく、どの表記でも「身体」の意味の名詞と共に用いられている。

　そのほかに、「様相」の意味の名詞は「かたい」とよく共に用いられている。「自然」では、「かたい」の比率が11.11%、他の共起と比べてかなり高い。語例として、「体制」「性格」の名詞が挙げられる。

　また、「心」では「固い」で12.50%、「堅い」で19.35%を占め、両方も高い。よって、「心」の意味の名詞が「固い」と「堅い」とよく富用いられているということである。

表16：延べ語数の分析結果比較―「名詞　が　かたい」の形式

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 部門 | かたい | 固い | 硬い | 堅い |
| 13 様相 | 3 (8.57%) | 1 (0.83%) | 2 (1.64%) | 2 (3.70%) |
| 15 作用 | 1 (2.86%) | 10 (8.26%) | 2 (1.64%) | 1 (1.85%) |
| 17 空間 | 2 (5.71%) | 2 (1.65%) | 5 (4.10%) | 0 (0.00%) |
| 18 形 | 2 (5.71%) | 0 (0.00%) | 1 (0.82%) | 0 (0.00%) |
| 23 人物 | 0 (0.00%) | 0 (0.00%) | 1 (0.82%) | 2 (3.70%) |
| 30 心 | 1 (2.86%) | 16 (13.22%) | 8 (6.56%) | 6 (11.11%) |
| 31 言語 | 0 (0.00%) | 3 (2.48%) | 0 (0.00%) | 1 (1.85%) |
| 34 行為 | 0 (0.00%) | 0 (0.00%) | 0 (0.00%) | 1 (1.85%) |
| 35 交わり | 1 (2.86%) | 11 (9.09%) | 0 (0.00%) | 7 (12.96%) |
| 36 待遇 | 0 (0.00%) | 0 (0.00%) | 0 (0.00%) | 3 (5.56%) |
| 40 物品 | 1 (2.86%) | 0 (0.00%) | 0 (0.00%) | 1 (1.85%) |
| 41 資材 | 1 (2.86%) | 1 (0.83%) | 5 (4.10%) | 3 (5.56%) |
| 42 衣料 | 2 (5.71%) | 3 (2.48%) | 2 (1.64%) | 0 (0.00%) |
| 43 食料 | 2 (5.71%) | 8 (6.61%) | 3 (2.46%) | 1 (1.85%) |
| 44 住居 | 0 (0.00%) | 2 (1.65%) | 5 (4.10%) | 0 (0.00%) |
| 45 道具 | 1 (2.86%) | 2 (1.65%) | 1 (0.82%) | 0 (0.00%) |
| 46 機械 | 0 (0.00%) | 0 (0.00%) | 2 (1.64%) | 0 (0.00%) |
| 50 自然 | 0 (0.00%) | 0 (0.00%) | 2 (1.64%) | 0 (0.00%) |
| 51 物質 | 0 (0.00%) | 3 (2.48%) | 4 (3.28%) | 1 (1.85%) |
| 52 天地 | 0 (0.00%) | 0 (0.00%) | 1 (0.82%) | 2 (3.70%) |
| 54 植物 | 2 (5.71%) | 7 (5.79%) | 6 (4.92%) | 3 (1.85%) |
| 56 身体 | 16 (45.71%) | 52 (42.98%) | 72 (59.02%) | 20 (37.04%) |
| **総計** | **35 (100%)** | **121 (100%)** | **122 (100%)** | **54 (100%)** |

　次に表16によると、「身体」では「堅い」で37.04%、「かたい」「固い」で45%程度、一番高い「硬い」で59.02%を占めている。これは、「身体」の意味の名詞が【かたい】のどの表記でよく共に用いられ、繰り返して使われているということである。

　また、「心」では「固い」で13.22%、「堅い」で11.11%を占めている。「心」の意味の名詞は「固い」と一番よく共起し、繰り返い手使われているということである。

　以上記述したように、「身体」の意味の名詞の中に、「頭」「口」が【かたい】と共起し、身体部位慣用句になる。「頭がかたい」は「頑固」という意味を持ち、大野・田中によると「固い」とは「ことがらや状態が簡単には変わらな」（大野・田中　1995、p.237）、つまり頑固ということである。したがって「頭」は「固い」と共起するということが分かる。

　また、「口がかたい」とは「秘密を守る」という意味である。大野・田中によると「堅い」とは「ものごとの性質がしっかりしている。確実で信用できる」（大野・田中　1995、p.237）という意味であるため、「口」は「堅い」と共起しているということが分かる。しかし、実際には「堅い」だけではなく、他の表記も用いられている。この点については、用例を挙げてみる。

おしゃべりじゃないところが、口が固い、信頼できる、みたいに評価されて。おまけに、習字がすごくうまいんで、重宝がられてました。

（BCCWJ、LBq9\_00059、『なくさないで』祥伝社、2002）

　以上の例を読むと、この場面では「口が固い」は「秘密を守る」と近い意味である。市川によると、「固い」は「しっかりしていて、かんたんにはくずれない」（市川　2001、p.203）であるため、この表記が使用されているわけである。

　　同じ身体部位であるが、「体が硬い」は慣用句ではない。文化審議会国語分科会によると、「硬い」とは「外力に強い」（文化審議会国語分科会　2014、p.12）、つまり物理的にかたいという意味である。したがって、「体が硬い」は体が強く、こわばっているということであるため、「体」は「硬い」と共起するということが分かる。「体」だけでなく、「骨」「便」「皮」などの物理的なイメージを持っている名詞も「硬い」と共起することも分かる。

　ところが、「表情」という名詞は物理的なイメージを持っていないにもかかわらず、「表情が硬い」という句が使用されている。

化粧直しの１コマをとらえたが、ガラスに映った表情が硬く若い女性の魅力を引き出すことは出来なかった。

（BCCWJ、PB17\_00110、『ちがいのわかる写真術。』三樹書房、2001）

　用例（）の「表情が硬い」というのは人間が緊張して、表情筋いわば顔の筋肉がこわばって固くなるということである。顔の筋肉であるため「硬い」と共に用いられているということが分かる。

　本節における、「警視　が　かたい」という形式の分析と考察から共起する名詞の違いによって【かたい】の表記の使い分けを以下のようにまとめることができる。

「固い」  
基本的に「頭」と組み合わせ「頭が固い」の慣用句にする。そのほかに、しっかりしている・簡単に変えないという意味を持って、「結束」「ガード」「意志」「決心」などの抽象的な名詞とともに用いられる。  
「硬い」  
こわばっている・外力に強いの意味を持って、「体」「骨」「筋（筋肉）」などの物体・物理的なイメージを持っている名詞と共に用いられる。  
「堅い」  
信用できるという意味を持って「口」と組み合わせ「口が堅い」の慣用句になる。また、（守りが）しっかりしているという意味を持って、「守り」「ガード」と共に用いられる。

## 3.3．【かたい】と共起する名詞―「かたい　名詞」の形式

　本節では、【かたい】と共起する名詞の分析を行う。具体的には【かたい】が形容詞としての述語として用いられる「名詞　が　かたい」の使用形式を分析対象とする。

　まずは、【かたい】が「かたい　名詞」という形式の中で、どの名詞と共起するかを分析する。共起する名詞上位10位を以下の表16で示す。

表17：共起する名詞上位10位―「かたい　名詞」の形式

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 順位 | かたい | 固い | 硬い | 堅い |
| 1位 | 物 12 (6.19%) | 物 52 (10.46%) | 物 60 (10.40%) | 物 19 (6.01%) |
| 2位 | 部分 12 (5.19%) | 決意 21 (4.23%) | 表情 41 (7.11%) | 事 18 (5.38%) |
| 3位 | 表情 7 (3.61%) | 握手 19 (3.82%) | 所 12 (2.08%) | 部分 10 (3.16%) |
| 4位 | 事 7 (3.61%) | 表情 18 (3.62%) | 部分 9 (1.56%) | 木 10 (3.16%) |
| 5位 | 決意 6 (3.09%) | 絆 12 (2.41%) | 皮 9 (1.56%) | 話 9 (2.85%) |
| 6位 | 殻 5 (2.58%) | 部分 9 (1.81%) | 骨 9 (1.56%) | 表情 8 (2.53%) |
| 7位 | 声 5 (2.58%) | 事 9 (1.81%) | 殻 8 (1.39%) | 皮 7 (2.22%) |
| 8位 | 骨 5 (2.58%) | 殻 8 (1.61%) | 感触 8 (1.39%) | 守り 7 (2.22%) |
| 9位 | 岩盤 4 (2.06%) | 信念 8 (1.61%) | 便 8 (1.39%) | 所 6 (1.90%) |
| 10位 | 木 4 (2.06%) | 木 7 (1.41%) | 論 8 (1.39%) | 人 5 (1.58%) |

　表14によると、「かたい　名詞」という形式において、【かたい】とよく共起する名詞は

　次に、【かたい】と共起する名詞の意味に基づき分析する。

### 3.2.1.「かたい」の表記

　本項から、【かたい】の各表記が「かたい　名詞」という形式においてどのような名詞と共に用いられるのか、名詞の意味に着目して詳しい分析を行う。名詞の意味を分析する際には『分類語彙表』の分類に従う。

　まずは、「かたい」と共起する名詞の意味を『分類語彙表』の「部門」の基づいて分析する。分析結果を以下の表に示す。

表18：「かたい」

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 部門 | 異なり語数 | 延べ語数 | 語例 |
| 関係 |  |  |  |
| 主体 |  |  |  |
| 活動 |  |  |  |
| 生産物 |  |  |  |
| 自然 |  |  |  |
| **総計** | **27 (100%)** | **35 (100%)** |  |

　表18によると、

表19：「かたい」

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 部門 | 異なり語数 | 延べ語数 | 語例 |
| 13 様相 |  |  |  |
| 15 作用 |  |  |  |
| 17 空間 |  |  |  |
| 18 形 |  |  |  |
| 30 心 |  |  |  |
| 35 交わり |  |  |  |
| 40 物品 |  |  |  |
| 41 資材 |  |  |  |
| 42 衣料 |  |  |  |
| 43 食料 |  |  |  |
| 45 道具 |  |  |  |
| 54 植物 |  |  |  |
| 56 身体 |  |  |  |
| **総計** | **27 (100%)** | **35 (100%)** |  |

　表6によると、「身体」の意味の名詞がもっとも多く、異なり語数で37.04%、延べ語数で45.71%を占めている。よって、種類だけでなく、使用回数も多いということである。語例として、「体」「頭」「口」が挙げられる。

### 3.2.2.「固い」の表記

　次に、「固い」と共起する名詞の意味を『分類語彙表』の「部門」に基づいて分析する。分析結果を以下の表に示す。

表20：「固い」

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 部門 | 異なり語数 | 延べ語数 | 語例 |
| 関係 |  |  |  |
| 主体 |  |  |  |
| 活動 |  |  |  |
| 生産物 |  |  |  |
| 自然 |  |  |  |
| **総計** | **56 (100%)** | **121 (100%)** |  |

　表7をによると、「自然」の意味の名詞が最も多く、異なり語数が40.35%で、延べ語数が51.24%を占めている。「固い」の表記はさまざまな「自然」の意味の名詞と共起し、その使用回数が多いということが分かる。

　次に、「固い」と共起する名詞の意味をさらに細かく、『分類語彙表』の「中項目」に基づいて分析する。分析結果を以下の表8に示す。

表21：「固い」

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 部門 | 異なり語数 | 延べ語数 | 語例 |
| 13 様相 |  |  |  |
| 15 作用 |  |  |  |
| 17 空間 |  |  |  |
| 30 心 |  |  |  |
| 31 言語 |  |  |  |
| 35 交わり |  |  |  |
| 41 資材 |  |  |  |
| 42 衣料 |  |  |  |
| 43 食料 |  |  |  |
| 44 住居 |  |  |  |
| 45 道具 |  |  |  |
| 51 物質 |  |  |  |
| 54 植物 |  |  |  |
| 56 身体 |  |  |  |
| **総計** | **56 (100%)** | **121 (100%)** |  |

　表8をによると、「身体」の意味の名詞がもっとも多く、異なり語数で28.57%、延べ語数で42.98%を占めている。「身体」の意味の名詞の種類が多く、使用回数がもっと多いということである。具体的には、一番多いのは「頭」「口」という語例が挙げられる。

### 3.2.3.「硬い」の表記

　次に、「硬い」と共起する名詞の意味を『分類語彙表』の「部門」に基づいて分析する。分析結果を以下の表に示す。

表22：「硬い」

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 部門 | 異なり語数 | 延べ語数 | 語例 |
| 関係 |  |  |  |
| 主体 |  |  |  |
| 活動 |  |  |  |
| 生産物 |  |  |  |
| 自然 |  |  |  |
| **総計** | **60 (100%)** | **122 (100%)** |  |

　表9をによると、「硬い」の表記と共起する名詞は「自然」の意味の名詞が圧倒的に多い、異なり語数で56.67%、延べ語数で69.67%を占めている。語例として、「体」（27回）、「骨」（5回）を挙げられる。「自然」について、「生産物」の意味の名詞が2番目に多、異なり語数で23.33%、延べ語数で14.75%を占めている。

　次に、「硬い」と共起する名詞の意味をさらに細かく、『分類語彙表』の「中項目」に基づいて分析する。分析結果を以下の表8に示す。

表23：「硬い」

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 部門 | 異なり語数 | 延べ語数 | 語例 |
| 13 様相 |  |  |  |
| 15 作用 |  |  |  |
| 17 空間 |  |  |  |
| 18 形 |  |  |  |
| 23 人物 |  |  |  |
| 30 心 |  |  |  |
| 41 資材 |  |  |  |
| 42 衣料 |  |  |  |
| 43 食料 |  |  |  |
| 44 住居 |  |  |  |
| 45 道具 |  |  |  |
| 46 機械 |  |  |  |
| 50 自然 |  |  |  |
| 51 物質 |  |  |  |
| 52 天地 |  |  |  |
| 54 植物 |  |  |  |
| 56 身体 |  |  |  |
| **総計** | **60 (100%)** | **122 (100%)** |  |

　表10をによると、「身体」の意味の名詞が一番多く、異なり語数比率で38.33%、異なり語数で59.02%を占めている。「身体」の意味の名詞の種類が多く、使用回数がもっと多いということである。具体的には、一番多いのは「体」「便」「口」という語例が挙げられる。

### 3.2.4.「堅い」の表記

　次に、「堅い」と共起する名詞の意味を『分類語彙表』の「部門」に基づいて分析する。分析結果を以下の表11に示す。

表24：「堅い」

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 部門 | 異なり語数 | 延べ語数 | 語例 |
| 関係 |  |  |  |
| 主体 |  |  |  |
| 活動 |  |  |  |
| 生産物 |  |  |  |
| 自然 |  |  |  |
| **総計** | **31 (100%)** | **54 (100%)** |  |

　表11をによると、「堅い」の表記は「活動」の意味の名詞と「自然」の意味の名詞ともよく共に用いられる。「活動」の意味の名詞は異なり語数でが38.71%、延べ語数で33.33%を占めている。一方で「自然」の意味の名詞は異なり語数でが35.48%、延べ語数でが48.15%を占めている。「自然」の意味の名詞は種類が多く、もっとよく繰り返して使われているということである。

　次に、「硬い」と共起する名詞の意味をさらに細かく、『分類語彙表』の「中項目」に基づいて分析する。分析結果を以下の表8に示す。

表25：「堅い」

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 部門 | 異なり語数 | 延べ語数 | 語例 |
| 15 作用 |  |  |  |
| 17 空間 |  |  |  |
| 23 人物 |  |  |  |
| 30 心 |  |  |  |
| 31 言語 |  |  |  |
| 34 行為 |  |  |  |
| 35 交わり |  |  |  |
| 36 待遇 |  |  |  |
| 40 物品 |  |  |  |
| 41 資材 |  |  |  |
| 43 食料 |  |  |  |
| 51 物質 |  |  |  |
| 52 天地 |  |  |  |
| 54 植物 |  |  |  |
| 56 身体 |  |  |  |
| **総計** | **31 (100%)** | **54 (100%)** |  |

　表12をによると、「身体」の意味の名詞がもっとも多く、異なり語数で22.58%、延べ語数で37.04%を占めている。

### 3.2.5．分析のまとめ考察

　最後に、以上に分析した結果をまとめる。以下の表13は、【かたい】の各表記と共起する名詞の異なり語数の分析結果である。

表26：異なり語数の分析結果比較―「名詞　が　かたい」の形式

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 部門 | かたい | 固い | 硬い | 堅い |
| 関係 | 7 (25.93%) | 5 (8.93%) | 8 (13.33%) | 3 (9.68%) |
| 主体 | 0 (0.00%) | 0 (0.00%) | 1 (1.67%) | 1 (3.23%) |
| 活動 | 2 (7.41%) | 13 (23.21%) | 3 (5.00%) | 12 (38.71%) |
| 生産物 | 6 (22.22%) | 15 (26.79%) | 14 (23.33%) | 4 (12.90%) |
| 自然 | 12 (44.44%) | 23 (41.07%) | 34 (56.67%) | 11 (35.48%) |
| **総計** | **27 (100%)** | **56 (100%)** | **60 (100%)** | **31 (100%)** |

　表13によると、「かたい」「固い」「硬い」はよく「自然」の意味の名詞と共に用いられているという点においては共通している。ただし、「かたい」と「固い」では「自然」の比率が41%～44%程度である一方、「硬い」ではこの比率56.67%まで増加している。一方で「堅い」では35.48%に過ぎないという点においては他の表記と異なっている。

　また、表13によると、「活動」では「堅い」で23.21%、「堅い」で38.71%を占め、「活動」の意味の名詞がよく「固い」と「堅い」と共に用いられているということである。

　さらに、「かたい」「固い」「硬い」はよく「生産物」の意味の名詞と共に用いられるという点においても共通である。全3つの表記では「生産物」の比率が22%～26%程度である。

　最後に、「関係」では「かたい」で25.93%を占め、「かたい」はよく「関係」の意味の名詞と共に用いられているということである。

表27：延べ語数の分析結果比較―「名詞　が　かたい」の形式

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 部門 | かたい | 固い | 硬い | 堅い |
| 関係 | 8 (22.86%) | 13 (10.74%) | 10 (8.20%) | 3 (5.56%) |
| 主体 | 0 (0.00%) | 0 (0.00%) | 1 (0.82%) | 2 (3.70%) |
| 活動 | 2 (5.71%) | 30 (24.79%) | 8 (6.56%) | 18 (33.33%) |
| 生産物 | 7 (20.00%) | 16 (13.22%) | 18 (14.75%) | 5 (7.41%) |
| 自然 | 18 (51.43%) | 62 (51.24%) | 85 (69.67%) | 26 (48.15%) |
| **総計** | **35 (100%)** | **121 (100%)** | **122 (100%)** | **54 (100%)** |

　表14によると【かたい】の度の表記でも「自然」の比率が高い。「堅い」で48.15%、「かたい」「固い」で51%程度、そして「硬い」では非常に高く、69.67%を占めている。これは、「自然」の意味の名詞が度の表記でもよくともに用いられ、繰り返して使用されているということである。

　また、「活動」では「固い」で24.79%、「堅い」で33.33%を占め、「活動」の意味の名詞は「固い」「堅い」とよく共起するということである。

　最後に、「関係」では「かたい」で22.86%を占め、「かたい」はよく「関係」の意味の名詞と共に用いられ、繰り返して使われているということである。

表28：異なり語数の分析結果比較―「名詞　が　かたい」の形式

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 部門 | かたい | 固い | 硬い | 堅い |
| 13 様相 | 3 (11.11%) | 1 (1.79%) | 2 (3.33%) | 0 (0.00%) |
| 15 作用 | 1 (3.70%) | 2 (3.57%) | 1 (1.67%) | 2 (6.45%) |
| 17 空間 | 1 (3.70%) | 2 (3.57%) | 4 (6.67%) | 1 (3.23%) |
| 18 形 | 2 (7.41%) | 0 (0.00%) | 1 (1.67%) | 0 (0.00%) |
| 23 人物 | 0 (0.00%) | 0 (0.00%) | 1 (1.67%) | 1 (3.23%) |
| 30 心 | 1 (3.70%) | 7 (12.50%) | 3 (5.00%) | 6 (19.35%) |
| 31 言語 | 0 (0.00%) | 3 (5.36%) | 0 (0.00%) | 1 (3.23%) |
| 34 行為 | 0 (0.00%) | 0 (0.00%) | 0 (0.00%) | 1 (3.23%) |
| 35 交わり | 1 (3.70%) | 3 (5.36%) | 0 (0.00%) | 3 (9.68%) |
| 36 待遇 | 0 (0.00%) | 0 (0.00%) | 0 (0.00%) | 1 (3.23%) |
| 40 物品 | 1 (3.70%) | 0 (0.00%) | 0 (0.00%) | 1 (3.23%) |
| 41 資材 | 1 (3.70%) | 1 (1.79%) | 5 (8.33%) | 2 (6.45%) |
| 42 衣料 | 2 (7.41%) | 3 (5.36%) | 1 (1.67%) | 0 (0.00%) |
| 43 食料 | 1 (3.70%) | 7 (12.50%) | 2 (3.33%) | 1 (3.23%) |
| 44 住居 | 0 (0.00%) | 2 (3.57%) | 3 (5.00%) | 0 (0.00%) |
| 45 道具 | 1 (3.70%) | 2 (3.57%) | 1 (1.67%) | 0 (0.00%) |
| 46 機械 | 0 (0.00%) | 0 (0.00%) | 2 (3.33%) | 0 (0.00%) |
| 50 自然 | 0 (0.00%) | 0 (0.00%) | 2 (3.33%) | 0 (0.00%) |
| 51 物質 | 0 (0.00%) | 2 (3.57%) | 3 (5.00%) | 1 (3.23%) |
| 52 天地 | 0 (0.00%) | 0 (0.00%) | 1 (1.67%) | 1 (3.23%) |
| 54 植物 | 2 (7.41%) | 5 (8.93%) | 5 (8.33%) | 2 (6.45%) |
| 56 身体 | 10 (37.04%) | 16 (28.57%) | 23 (38.33%) | 7 (22.58%) |
| **総計** | **27 (100%)** | **56 (100%)** | **60 (100%)** | **31 (100%)** |

　表15は、名詞のさらに細かい分類「中項目」の分析結果比較である。今まで3.2.1～3.2.4の分析結果と同じく、どの表記でも「身体」の意味の名詞と共に用いられている。

　そのほかに、「様相」の意味の名詞は「かたい」とよく共に用いられている。「自然」では、「かたい」の比率が11.11%、他の共起と比べてかなり高い。語例として、「体制」「性格」の名詞が挙げられる。

　また、「心」では「固い」で12.50%、「堅い」で19.35%を占め、両方も高い。よって、「心」の意味の名詞が「固い」と「堅い」とよく富用いられているということである。

表29：延べ語数の分析結果比較―「名詞　が　かたい」の形式

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 部門 | かたい | 固い | 硬い | 堅い |
| 13 様相 |  |  |  |  |
| 15 作用 |  |  |  |  |
| 17 空間 |  |  |  |  |
| 18 形 |  |  |  |  |
| 23 人物 |  |  |  |  |
| 30 心 |  |  |  |  |
| 31 言語 |  |  |  |  |
| 34 行為 |  |  |  |  |
| 35 交わり |  |  |  |  |
| 36 待遇 |  |  |  |  |
| 40 物品 |  |  |  |  |
| 41 資材 |  |  |  |  |
| 42 衣料 |  |  |  |  |
| 43 食料 |  |  |  |  |
| 44 住居 |  |  |  |  |
| 45 道具 |  |  |  |  |
| 46 機械 |  |  |  |  |
| 50 自然 |  |  |  |  |
| 51 物質 |  |  |  |  |
| 52 天地 |  |  |  |  |
| 54 植物 |  |  |  |  |
| 56 身体 |  |  |  |  |
| **総計** | **(100%)** | **(100%)** | **(100%)** | **(100%)** |

　次に表16によると、

　本節における、「警視　が　かたい」という形式の分析と考察から共起する名詞の違いによって【かたい】の表記の使い分けを以下のようにまとめることができる。

「固い」  
。。。。  
「硬い」  
。。。。  
「堅い」  
。。。。

## 3.4．【かたい】共起する動詞―「かたく　動詞」の形式

　本節では、【かたい】と共起する動詞の分析を行う。具体的には【かたい】が副詞としての述語として用いられる「かたく　動詞」の使用形式を分析対象とする。

　まずは、【かたい】が「かたく　動詞」という形式の中で、どの名詞と共起するかを分析する。共起する名詞上位10位を以下の表4で示す。

表30：共起する名詞上位10位―「かたく　動詞」の形式

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 順位 | かたい | 固い | 硬い | 堅い |
| 1位 |  |  |  |  |
| 2位 |  |  |  |  |
| 3位 |  |  |  |  |
| 4位 |  |  |  |  |
| 5位 |  |  |  |  |
| 6位 |  |  |  |  |
| 7位 |  |  |  |  |
| 8位 |  |  |  |  |
| 9位 |  |  |  |  |
| 10位 |  |  |  |  |

　表15によると、「かたい　名詞」という形式において、【かたい】とよく共起する動詞は

### 3.2.1.「かたい」の表記

### 3.2.2.「固い」の表記

### 3.2.3.「硬い」の表記

### 3.2.4.「堅い」の表記

### 3.2.5．分析のまとめ考察

# 4．結論

　本研究では、異字同訓の使い分け問題として【かたい】の各表記「かたい」「固い」「硬い」「堅い」の使い分けを明らかにするために、BCCWJの検索アプリケーション「中納言」を利用し、データを収集詩分析を行った。

　収集したデータによって【かたい】の各表記が使用されているレジスターと、各表記と共に使用されている名詞及び動詞の性質の観点から分析と考察を行った結果により、以下のようにまとめることができる。

　。。。。

**《今後の課題》**

　本研究では、BCCWJから抽出したデータに基づいて【かたい】の各表記の意味用法に関する量的分析を行った。

　最後に、本研究の課題点として3点を指摘置きたい。1点目は、「スル」と「ナル」という抽象的な動詞を除外し、分析しなかったという点である。2点目は、共起する名詞及び動詞の意味の分類を細かいグループ「分類項目」まで分析しなかったということである。3点目は、『「異字同訓」の漢字の使い分け例（報告）』には133組の同訓の漢字が挙げられているが、本研究は［堅い・固い・硬い］しか研究を行われなかったということである。

　今後、本研究の足りない部分を補い、【かたい】の各表記の使用実状を更に詳しく分析したい。具体的に、用例を読みながら『分類語彙表』の分類に基づき詳しく考察していきたい。『分類語彙表』を使用することによって、名詞・動詞の意味のより小さな面が見られ、細かい分析ができる。その次に用例と組み合わせて分析することによって、各表記と共に使用されている名詞・動詞の特徴がより明確になる。

　また、異字同訓の使い分け問題として、『「異字同訓」の漢字の使い分け例（報告）』に記述されている他の同訓の漢字組を研究したい。

# 参考文献・資料

1. 斎藤　純男・田口　善久・西村　義樹（2015）「コーパス言語学」、『明解言語学辞典』、三省堂、p.89。
2. 沖森　卓也（2014）「異字同訓とは」、宮地　裕・甲斐　睦『日本語学』、明治書院、p.9。
3. 山田　進（2014）「意味から見た異字同訓」、宮地　裕・甲斐　睦『日本語学』、明治書院、p.14-15。
4. 文化審議会国語分科会（2014）「『異字同訓』 の漢字の使い分け例（報告）」、宮地　裕・甲斐　睦『日本語学』、明治書院、p.64。
5. 大野　晋・田中　章夫（1995）『角川必携国語辞典　初版発行』、角川書店、p.237。
6. 市川　孝（2001）『三省堂現代新国語辞典　第十刷発行』、三省堂、p.203。
7. 金田一　春彦（2002）『学研 現代新国語辞典　改訂第三版』、学研研究社、p.224。
8. 小学館『デジタル大辞泉』、2021年02月時点閲覧。
9. 日本国際交流基金（2017）『海外の日本語教育の現状　2015年度日本語教育機関調査より』、p.13。
10. 日本国際交流基金（2020）『海外の日本語教育の現状　2018年度日本語教育機関調査より』、p.15。

国語審議会漢字部会（1972）「『異字同訓』 の漢字の用法」、ｐ.6。

中馬　愛（2019）「ベトナムにおける日本の大学の協力状況・国費留学生・留学生を巡る問題」、ウェブマガン『留学文流　2019年6月号Vol.99』、JASSO、p.50。

# 付録

[表1：全部のデータ 15](#_Toc68961927)

[表2：修正したデータ（研究対象） 17](#_Toc68961928)

[表3：レジスター別の分類 18](#_Toc68961929)

[表4：共起する名詞上位10位―「名詞　が　かたい」の形式 20](#_Toc68961930)

[表5：「かたい」 21](#_Toc68961931)

[表6：「かたい」 21](#_Toc68961932)

[表7：「固い」 22](#_Toc68961933)

[表8：「固い」 22](#_Toc68961934)

[表9：「硬い」 23](#_Toc68961935)

[表10：「硬い」 23](#_Toc68961936)

[表11：「堅い」 24](#_Toc68961937)

[表12：「堅い」 24](#_Toc68961938)

[表13：異なり語数の分析結果比較―「名詞　が　かたい」の形式 25](#_Toc68961939)

[表14：延べ語数の分析結果比較―「名詞　が　かたい」の形式 26](#_Toc68961940)

[表15：異なり語数の分析結果比較―「名詞　が　かたい」の形式 26](#_Toc68961941)

[表16：延べ語数の分析結果比較―「名詞　が　かたい」の形式 27](#_Toc68961942)

[表17：共起する名詞上位10位―「かたい　名詞」の形式 30](#_Toc68961943)

[表18：「かたい」 30](#_Toc68961944)

[表19：「かたい」 31](#_Toc68961945)

[表20：「固い」 31](#_Toc68961946)

[表21：「固い」 32](#_Toc68961947)

[表22：「硬い」 32](#_Toc68961948)

[表23：「硬い」 33](#_Toc68961949)

[表24：「堅い」 34](#_Toc68961950)

[表25：「堅い」 34](#_Toc68961951)

[表26：異なり語数の分析結果比較―「名詞　が　かたい」の形式 35](#_Toc68961952)

[表27：延べ語数の分析結果比較―「名詞　が　かたい」の形式 35](#_Toc68961953)

[表28：異なり語数の分析結果比較―「名詞　が　かたい」の形式 36](#_Toc68961954)

[表29：延べ語数の分析結果比較―「名詞　が　かたい」の形式 37](#_Toc68961955)

[表30：共起する名詞上位10位―「かたく　動詞」の形式 39](#_Toc68961956)

1. 出所：https://www.vn.emb-japan.go.jp/files/000352067.pdf [↑](#footnote-ref-1)
2. 独立行政法人日本学生支援機構とは、日本において、主に学生に対する奨学金事業や留学支援・外国人留学生の就学支援を行う独立行政法人（中期目標管理法人）である。JASSOとも呼ばれる。 [↑](#footnote-ref-2)
3. 出所：中馬　愛（2019）「ベトナムにおける日本の大学の協力状況・国費留学生・留学生を巡る問題」、ウェブマガン『留学文流　2019年6月号Vol.99』、JASSO、p.50。 [↑](#footnote-ref-3)
4. 出所：独立行政法人日本学生支援機構（2020)『2019（令和元）年度外国人留学生在籍状況調査結果』、p.?? [↑](#footnote-ref-4)
5. 出所：日本国際交流基金（2017）『海外の日本語教育の現状　2015年度日本語教育機関調査より』、p.13 [↑](#footnote-ref-5)
6. 出所：日本国際交流基金（2020）『海外の日本語教育の現状　2018年度日本語教育機関調査より』、p.15 [↑](#footnote-ref-6)
7. 出所：http://www.nat-test.com/contents/comparison.html [↑](#footnote-ref-7)
8. 出所：https://www.kanken.or.jp/kanken/outline/degree.html [↑](#footnote-ref-8)
9. 日本語では、そもそも正書法が存在しない。 [↑](#footnote-ref-9)
10. 通用漢字表には、2136字が入っている。 [↑](#footnote-ref-10)
11. 記録047番 [↑](#footnote-ref-11)
12. 用例の出典は、「BCCWJ、[サンプルID]、[出典]、[出版年]」順に記述する。 [↑](#footnote-ref-12)